

学校教育目標

『人権尊重の精神を基盤として

- ・正しく判断し、行動できる生徒
- ・自ら考え、自ら高める生徒
- ・心身を鍛え、ねばり強くがんばることができる生徒』

学校通信

美原中だより

令和7年12月号
堺市立美原中学校
校長 新田 義政

【保護者・地域のみなさまへ】

子どもたちの確実な成長

3年生は進路先をしっかりと考え、その実現に向けて、日々、勉強を頑張ってくれています。大人になったなど学校生活での彼らの姿を見ていて強く感じます。そのきっかけになった一つが体育大会だったと思います。体育大会では、全生徒が一つになって頑張ったのですが、その中でも3年生は1・2年生をリードして、自分たちが全学年をまとめなければならないという使命感や責任感で苦勞したことでしょう。その頑張る姿は素敵で、彼らの取り組みのビデオを撮影しているとき、何度感極まったかわかりません。そんな彼らが、「応戦合戦でどんな学びがあったか」というテーマで振り返り、レポートを書いているので、その一部を紹介したいと思います。

・応援合戦には人とコミュニケーションを取りながら考えて行動する学びと失敗から成長する学びがあると感じました。・・・(途中略)・・・その失敗を通して、どうすれば分かりやすく説明ができ、皆に伝わるか考えて成功につなげることができました。

・この体育大会で学んだことは高校だけではなく、大人になって社会に出てからも必要なことばかりです。この学べたことを、これからの人生で活かして、熱い人間になります。

・応援合戦を通じて一番大切だと思った事は、聞く力です。・・・(途中略)・・・聞いた事を行動に移す事の難しさを知りました。・・・(途中略)・・・1・2年生への伝え方や教え方が難しく、強く言い過ぎたり、表現の仕方がとても難しかった。表現力や伝達力などの力が必要だと気づきました。

・体育大会の準備段階から本番にかけて「自分で考えて行動する」ということを学んで、自身の成長につながっていくことになるのではないかと考えた。

・応援合戦で学んだことは、1年、2年、3年が協力し合い、自分達で考え、自分達で行動する事と、3年生は2年生、1年生に分かりやすく説明すること、理解してもらうまで説明すること、2年生、1年生は3年生の言っていることを理解しようということ。

・勝てた時はうれしくなるし、負けた時はとことん悔しく涙が出るほどの体育大会になった。

・みんなが一生懸命全力で取り組むことで、すぐ動けるようになったり、みんなが集中して聴ける環境を作れるように成長していった。

・苦手な人やできていない人がいると、できている人が教えてあげたり、できていない人同士で考え合って行動したりだとか、自分のことも大事だけど、仲間を一番に思えるのがたくさん見えた。

・まわりの考えを聞くことの大切さに気づきました。

・協調性は人をつなげる力だと思いました。

・どうすればいいかと自分達で考えるという学びがあった。

・応援合戦は、先のことを予想して計画することの大切さを教えてくれました。

・他学年の人との交流や人の動かし方は、社会に出たときにすごく必要なことだと思っています。

・一生懸命な人にはついていきたくなるんだなと思いました。

・団長になって「本気」でやる楽しさ、仲間と「本気」で挑む楽しさをこの体育大会で体感した。

・こんなに熱い中学校どこかがしてもないと思う。美原は本当に最高だと心の底から思うことができた。

・一人の力ではなにもできないと思っていたが、一人でも変わること、その周りの人たちも変わり始めていくことがわかった。

・生徒一人ひとりの思いや、やりたいことが明らかになり、考えを出し合いまとめる力がつく。

・考えたこと、まとめたことを伝えるという力、他の生徒に考えを伝える難しさの学びになる。

・生徒主体だからみんなの思いなどがダイレクトに伝わるから挑戦する気持ちが大きくなる。

・責任をもって行動する力がついた。

・一番の成長は、人と人との協力にあると思います。その協力がクラスだけでなく学校中に広まればなと思いました。

・チームの一体感や協力の重要性を強く感じました。さらに一緒に目標に向かって努力することで、困難な場面でも、諦めずに挑戦する気持ちを身につけることができました。

・応援リーダーは自分から意見を出すなど、積極的に取り組む態度がすごく成長する。

・自分たちから新しい考えやもっと良くなるにはどうしたらいいかなど意欲的に考える力がつきました。

・一人ひとりの努力と協力する気持ちを成長させることができる。

・ワイワイやっている裏では色々なドラマがあって、その人の努力によって成り立っているんだなと思いました。

・他の人が行動しているのを見て動くのではなく、自分から行動をしていくのが必要だと学んだ。

いかがでしたでしょうか。生徒たちの成長が垣間見れたのではないのでしょうか。応援合戦の取り組みは、教員が枠組みは決めてあげ支援はしますが、生徒たちが主体的・協働的に取り組んでいきます。計画する楽しさを感じたが、それを実現することの難しさに挫折しそうになることは何度もあったでしょう。でも、課題を一緒に考えてくれる仲間がいて、どんなに心強かったのでしょうか。絆が生まれ、その絆は最初は応援リーダーの中で、次はクラス全体に広がり、また、学年に。そして、最後は学年を超え学校全体に広がったと思います。貴重な経験だったと思います。

大学駅伝で、駒澤大学を今や屈指の強豪チームに育てあげた大八木総監督は、その秘訣として、次のようなことを話しておられます。

「当時はスパルタ的な指導が多く、『俺についてこい』という感覚でやっていましたが、時代も変わりました。・・・(途中略)・・・一度やらせてみて、もし失敗したらそこから一緒に解決策を考えるようにしました。そのためには傾聴力が大事です。しっかりと選手の思いを聞いて、選手の主体性を重んじたところ、チームが更に強くなり、駅伝でもよい結果が出るようになりました。」

練習メニューも選手が自分で考え、その進め方も考えたようです。目標を掲げ、その実現のために現状をとらえ何をする必要があるのか、自分で考えていくようです。やらされている練習って、これは何のためにしているんだろう？と疑問を持ったままで、効果は低くなってしまうのでしょうか。実際、大会に出場したときも、練習してきた意味がよくわかっていると、目標を達成するためのモチベーションも自然とあがるのだらうと思います。

この話は、今年の体育大会で、子どもたちが自分たちで考え、頑張ってきた姿と重なりませんか。応援と駅伝で競技は異なりますが、プロセスは同じだと思います。生徒たちは自分で主体的に考え行動することの大切さを経験できたと思います。この経験は貴重な経験だと思います。これをこれからの人生に生かして行って欲しいと思います。3年生はまずは進路選択、そう、受験です。1・2年生も、学校生活での勉強、部活動、習い事などいろいろあると思います。子どもたちが主体性を生かし頑張ってくれるのを保護者の皆様と共に教職員一同で支えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

日	曜日	12月行事予定
2	火	小学生部活動体験
3	水	新入生保護者説明会
12	金	あいさつ運動
13	土	新入生 制服・体操服採寸
17	水	2学期末懇談会
18	木	2学期末懇談会
19	金	2学期末懇談会
22	月	2学期末懇談会
23	火	学年集会・大掃除
24	水	2学期終業式
29日～1月3日(年末年始特別休業)		

1月の主な行事予定

- 8日(木) 3学期始業式
- 9日(金) 3年：第3回実力テスト
- 14日(水) 1・2年：大阪府チャレンジテスト
- 21日(水)～23日(金) 3年：学年末テスト
1・2年：教育相談
- 26日(月), 29日(木), 30日(金) 3年公立高校特別選抜用懇談